

県民協働の取り組み自己チェックシート（振り返り後）

基本項目

記入者氏名：くらし環境本部こども未来課 安藤みゆき（0952-25-7382）（行政）  
 特定非営利活動法人 佐賀県放課後児童クラブ連絡会 石橋裕子（0952-40-8633）（CSO）  
 事業名：放課後児童クラブ研修事業  
 事業内容：佐賀県放課後児童クラブ連絡会が、放課後児童クラブでボランティアをしたいという人に対して研修を行う  
 行政担当課：くらし環境本部こども未来課  
 CSO名：特定非営利活動法人 佐賀県放課後児童クラブ連絡会  
 協働はいつ開始されましたか。  
 1. 予算案作成前から 2. 予算決定後、企画の段階から ③. 実施段階から  
 4. その他（ ）  
 協働の呼びかけは、どちらからですか。  
 ①. CSO 2. 行政 3. その他（ ）  
 協働の形態は何ですか。  
 1. 協働型委託 2. 共催 3. 補助 4. 後援 ⑤. 事業協力  
 県民協働のコーディネーターは同席しましたか。  
 1. 同席した ②. 同席していない（理由：調整の必要がなかったため）

振り返り（評価）項目	行政	CSO
<b>計画段階</b>		
1. 事業の目的を明確にし、共有しましたか。	はい	はい
2. 成果目標を明確にし、共有しましたか。	はい	はい
3. 県民のニーズについて話しあい、反映されていますか。	はい	はい
4. 協働の理由は明確ですか。	はい	はい
5. ふさわしい協働の形態が検討されましたか。	はい	はい
6. 協働する相手を選ぶ手法は適当でしたか。 当初から決まっている場合：選定理由の明確性 当初から決まっていない場合：	はい	はい
7. 相互を理解し、対等な関係を築けましたか。	はい	はい
8. この事業についての事業計画、収支計画をともに作りましたか。	いいえ	いいえ
9. 協働する期間をともに考えましたか。	はい	はい
10. 役割分担を明確にしましたか。	はい	はい
計画段階で記すべきコメントがあればここに記入してください。 （CSOのコメント） ・活動にたいへん理解と協力をしていただいております、この事業だけでなく学童保育に対する全体的な方向性を共有していたため、協力体制がスムーズにできた。		
<b>実施段階</b>		
1. 役割分担をともに共有し、果たしましたか。	はい	はい
2. 進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	はい	はい
3. 課題の発生には、お互い連絡しあい、素早く対応しましたか。	はい	はい
4. 事業の修正は、お互いに十分議論し、柔軟に対応しましたか。	はい	はい
5. 事業内容の報告をつくり、公開しましたか。	はい	はい
実施段階で記すべきコメントがあればここに記入してください。 （行政のコメント） ・県が名義後援を行うことにより、実施団体が各市町への広報・周知を円滑に行うことができるようになり、また、各市町からの協力を得ることもつながった。 （CSOのコメント） ・講座に県の名義後援をいただき、自治体へ告知がスムーズにできた。 ・場所確保についても自治体から協力を得られたので、事業を円滑に行うことができた。		

成果の把握			
1. 成果目標は達成できたか、お互いに話し合いましたか。		はい	はい
2. 成果目標は達成できましたか。		はい	はい
成果の把握において、記すべきコメントがあればここに記入してください。 (行政のコメント) ・放課後児童クラブの充実を図るため、児童クラブのボランティア育成や人材バンクの必要性を認識することができた。 (CSOのコメント) ・成果の把握及びこの事業の必要性を確認しあうことができた。			
課題の抽出			
1. 今後の課題をお互いに話し合いましたか。		はい	はい
課題の抽出において、記すべきコメントがあればここに記入してください。 (行政のコメント) ・児童クラブのボランティア育成や人材バンクを創設するために、今後取り組むべき課題を共有することができた。 (CSOのコメント) ・児童クラブのボランティア育成について、今後取り組むべき方向性を共有できた。 ・課題を新しい事業に反映して取り組みをはじめた。			
改善案の作成			
1. 改善案をお互い話し合い、作成しましたか。		はい	はい
<改善案内容のポイント> 今回の研修の成果及び課題を県が今年度から実施している「佐賀県学童保育支援センター事業」へとつなげることができた。			
2. 今後の官民の役割分担を明確にしましたか。		はい	はい
改善案の作成において、記すべきコメントがあればここに記入してください。			
総合評価			
自由意見 (行政のコメント) ・県が事業協力を行うことにより、実施団体が研修の計画から実施までを円滑に進めることができ、また、各市町からも協力を得られたことにより、充実した研修にすることができた。 ・今回の研修を協働(事業協力)で実施したことにより、県が今年度から実施している佐賀県学童保育支援センター事業へとつなげることができた。  (CSOのコメント) ・今回、ボランティア人材バンク事業を行うにあたり、県子ども課の全面的な協力を得たことで社会福祉協議会との連携がすすんだ。また、研修開催を県内3箇所で行ったが、3箇所すべての自治体や担当課の協力を得ることができた。			

振り返り(評価)の各項目に「はい」、「いいえ」、「わからない」のいずれかを記入してください。